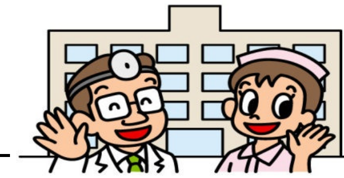
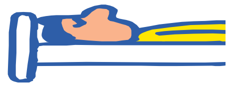
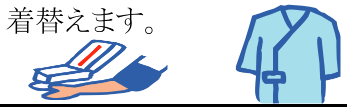
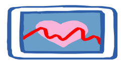
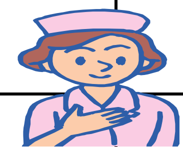
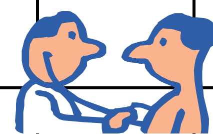
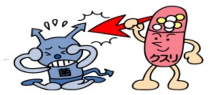
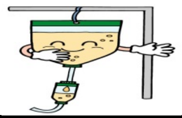
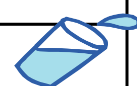
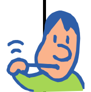
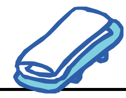
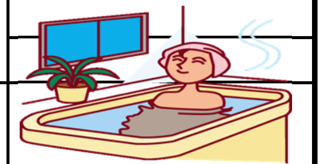
内視鏡下腰椎椎間板ヘルニア摘出術・入院診療計画書

※入院診療計画書は検温時看護師が一緒に確認するので検温時に出して下さい。

患者名：　　　　　　　　　様　　病名：　　　　　　　　主治医：　　　　　　受持看護師：　　　　　　患者承諾サイン：

症状：　　　　　　　　特別な栄養管理の必要性　有 ・ 無　（どちらかに○）

月日	/ ～ /	/		/	/	/	/	/	/	/
	入院日～手術前日	手術当日		1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
		手術前	手術後							
目標	・手術について 知ることができる。	・手術を受けることができる。	・手術前の痛みが軽減できる。	・歩行することができる。					・退院後の生活について 知る事ができる	・退院できる。
安静度	・制限はありません。・・・・・・・・＞		・ベッドの上で安静が必要です。 ・手術後は体に管が入っているので体の向きを変えたいときは看護師を呼んで下さい。 ・体をを起こすことはできません。	・創部の処置が終わったら 歩くことができます。 （手術後初めて歩行する時は必ず看護師が付き添います。）						
検査				・血液検査をします。						
処置		・手術開始30分前に、体温 脈拍・血圧を測ります。 ・手術室専用の病衣に 着替えます。 	・手術後、看護師が適宜観察に 伺います。 ・手術中、尿の管がはいります。 ・手術後体に心電図 フットポンプ 酸素のマスクを付けます。（手術を受けられる方へを参照して下さい。） 	・医師が手術の創を診察します。 ・看護師が尿の管を抜きます。 その後、看護師と共に歩行します。 ・4回位看護師が観察に伺います。	・3回位 看護師が 観察に 伺います。	・2回位 看護師が 観察に 伺います。 	・1回位・・・・・・・・・・・・・・・・・・＞ 看護師が 観察に 伺います。		・医師が 手術創を 診察します。 	
点滴 内服等	・薬がある方は看護師に 渡して下さい。 ・手術前日昼食後薬は 看護師が一時預かります。 夕食後からは看護師が 薬の時間にお持ちします。	・医師の指示で朝薬が ある方は6時頃看護師が 薬を持って行きます。 ・午前手術の時6時すぎに点滴をします。・・・・・・・・・・・・・・・・・＞ 午後手術の時10時頃に点滴をします。	・化膿止めの点滴をつなぎます。 	・薬は昼食後から内服できます。 					創部状態 歩行状態に問題なければ 退院できます。	
リハビリ	・麻痺があるとリハビリを行うことがあります。									
食事	・夕食後から食べることができません。（アメ ガム 禁煙パイポも禁止です） ・午前手術の場合は、午後 9時以降は水分も飲むことができません。 ・午後手術の場合は、午前 7時以降は水分も飲むことができません。			・看護師が観察後水分を飲むことができます。  ・昼食から食べることができます。						
清潔	・入浴ができます。 ・爪の長い方は切って下さい ・男性は髭を剃って下さい。	・手術当日は入浴できません。 ・洗面 歯磨きは変わらず 行えます。 		・体に管が入っているので看護師が 体を拭きます。 	・看護師が・・・・・・・・ 創を観察してから シャワーができます。	・・・・・・・・・	・・・・・・・・・	・・・・・・・・・・・・・・・＞		・入浴ができます。 
排泄		・手術開始30分前に尿を 済ませて下さい。		・管が抜けたらトイレに行くことができます。						
説明・指導	・主治医が手術の説明をします。 ・看護師が手術後の状態について説明します。		・手術直後に主治医が説明をします。						・看護師が退院の生活について 説明します。 （説明はパンフレットを使用します。）	

・退院、今後について医師の説明を希望される方は看護師に申し出て下さい。
・治療費に関しては 1階入退院受付までお尋ね下さい。　・退院後外来にてMRIの検査と診察があります。

＊ご不明な点がありましたら、看護師お尋ねください。

新潟中央病院　脊椎脊髄外科　　　　平成27年7月